



## 美唄市消防署 救急車及び救急資機材の紹介



令和6年11月1日から新しい救急車の運用が開始しました！！  
 新救急車の特徴として、デザイン・サイレン・ストレッチャーが新しくなりました！！  
 わたしたち消防職員は救急業務に際して、様々な資機材を使用し、苦しんでいる人を搬送しています。今回は新救急車と救急資機材を紹介していきます！！

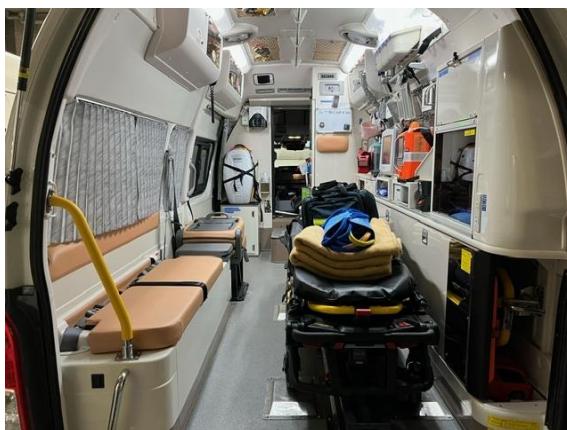


美唄市消防署には救急車が3台配置しています。  
 向かって左側が救急2号車(トヨタハイメディック)、真ん中が救急3号車(トヨタハイメディック)、右側が救急1号車(日産パラメディック)です。  
 救急要請があれば、消防署から出動しています。



こちらが新しく運用開始となった救急2号車です。  
 皆さんの今までの救急車のイメージだと白に赤いラインと赤いランプが付いているというのが一般的かと思いますが、今回は青と黄色も入ってカラフルで目立つデザインになっています！

住宅街の走行時に配慮した柔らかい印象の和音が特徴である「ハーモニックサイレン」を導入しました！他にも、交差点など車が多く集まる場所で救急車が認識しやすいようヒュンヒュンとした音が鳴る「イェルプサイレン」も導入しています！！



救急2号車  
出動前の車内の様子



救急2号車の電動ストレッチャー  
 今までのストレッチャーでは、人力で上げ下げの動作をおこなう必要がありましたが、電動ストレッチャーではボタンを押すことにより半自動で上げ下げの動作をおこなうことができるようになったので、安定した動作で振動を抑え、より搬送する方に配慮した活動ができるようになりました！！



### ・LUCAS3(ルーカススリー)

胸骨圧迫を実施する資機材で、心肺蘇生法時に使用します。



バッテリー(約45分使用可能)・AC電源のどちらでも作動でき、病院内でも使用できます！！

大きさは、高さ:56cm、幅:52cm、奥行き:24cm、重量:約8.0kgです。

ケースから取り出すとこのような一式が入っています。一番大きなものが本体で、黄色いのは本体に接続する背板です。黄色いバンドは本体を固定するバンドです。



### ・LUCAS3を装着した様子

作動したら、真ん中のシャフト部分が伸び縮みして胸骨圧迫をします。(シリコン製の吸盤の付いている部分です。)



ご紹介した資機材は代表的なものですが、他にも沢山の資機材があります。各資機材の取扱方法の熟知や手技の技術向上のために、日々の訓練を重ねています！！